

父母連ニュース

草加市保育園父母会連合会 機関紙
2010年度 第5号/2010年10月16日発行
発行責任者：高山 943-2616

表面：第2回会長会報告、草加母親大会報告



第2回会長会報告「各園との情報交換」

父母連副会長 中島幸代

今回も各園から会長が集まり、各保育園で抱える問題や、疑問について出し合い、情報交換を行いました。

①駐車場問題：前回に引き続き、駐車場問題として、駐車マナーが守られないことにより近隣から苦情が寄せられた話や、それに対応するための各園の対応について報告されました。

②写真現像のデジタル化にむけて：写真に関して、デジカメへの移行やSDカードの枚数、プリントの方法（店を決めている・ネットで注文している）などについて話し合われました。写真係のマニュアルを作成している園もありました。

③防災用品の整備について：防災用品の避難靴について、今後取り入れたい園とすでに取り入れている園の報告がありました。園によってまちまちなので、各父母会から園長に確認してみるといいかもかもしれません。

④その他：さかえ保育園の旧0歳児棟について、今後0歳児クラスを移すことで生じる問題をまとめ（通路のこと、看護師配置のこと、調理師配置のことなど）、父母会でアンケート集約後、嘆願書を提出するという報告がありました。安全性を確保するため、必要な設備と人員が配置されるよう、父母連全体でも今後も意識していきたいと思います。またバザーの情報交換も活発に行われました。また、各園から持ち寄った問題に対して、みんなで情報を提供したりともに考えたりし、父母会の質の向上の一助となったと思います。次回会長会は1月です。

草加母親大会報告

公立保育園の閉園には反対！

父母連事務局 青木美代子

9月26日（日）に勤労福祉会館にて「第47回 草加市母親大会」が開催されました。父母連と市職保育部会が運営する分科会では「子どもたちが健やかに育つために」をテーマに、参加者10名の皆様とざっくばらんに意見交換ができました。今回は主に「認可外保育」と「育成保育」について情報交換ができました。

「認可外保育」については、以前に認可外保育園で保育士を経験された方や、利用されたことのある方から、保育料が公立のような応能負担ではなく、高額負担で苦労していたことや、保育士の入れ替わりが多く、親も子も不安を感じていたことなど、生の声を聞くことができました。

また「育成保育」については、現在、草加市の公立18園全てが育成保育を実施し、53名の園児が在園する中、草加市の待機児対策として新設される民間認可保育所では、育成保育が実施されないことについて、懸念する声が上がりました。

今回の話し合いでは、今ある公立保育園を閉園させることなく、待機児対策を進めてほしいと草加市に要望していくことを結論としました。私たち保護者は、保育園に子どもを安心して預けられるからこそ、安心して働くことができます。

これからの課題として、認可外保育所や民間保育所と、公立保育園が情報交換・共有し、同じ草加に育つ子どもたちが、健やかに育つような環境を与えるためにはどうすべきかを一緒に考えていく必要があると感じました。